

梅雨前線に伴う豪雨における鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節効果について

平成23年6月20日、梅雨前線に伴う豪雨により鹿野川ダム流域平均総雨量165mm（時間最大36mm）野村ダム流域平均総雨量178mm（時間最大26mm）の降雨がありました。この洪水に対して、鹿野川ダム・野村ダムでは洪水調節を行い、下流の水位低下を図りました。

平成23年 6月 21日  
国土交通省山鳥坂ダム工事事務所  
国土交通省野村ダム管理所

問い合わせ先

(鹿野川ダム)

国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所  
事業計画課

事業計画課長／岡崎 繁則（内線331）

計画係長／有田 由高（内線332）

TEL／0893-34-2350

(野村ダム)

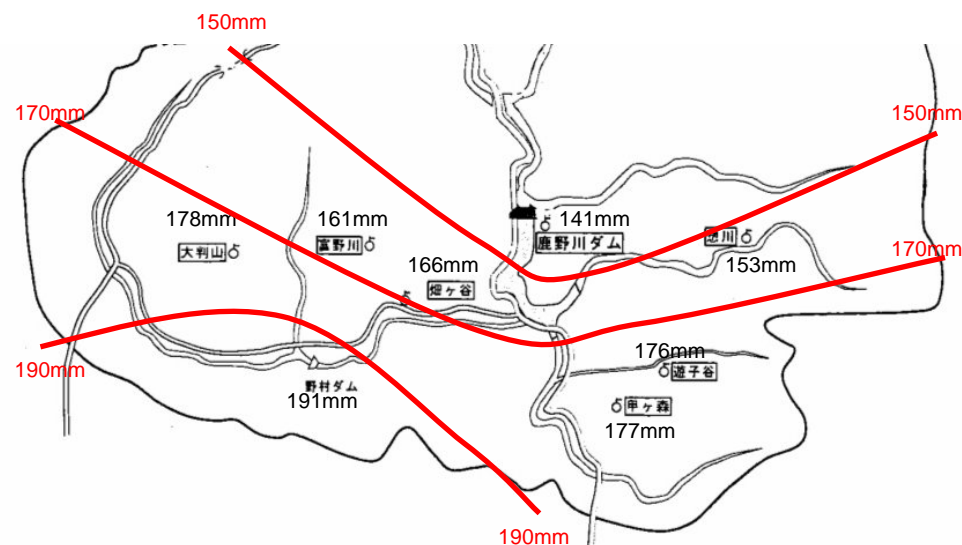
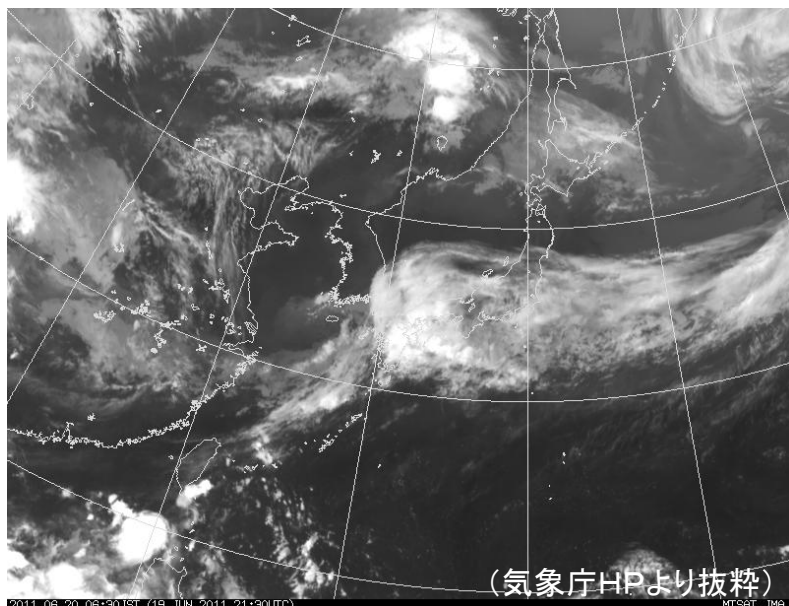
国土交通省 野村ダム管理所

管理所長／宮本 正司（内線201）

管理係長／井上 博文（内線332）

TEL／0894-72-1211

# 平成23年梅雨前線洪水調節効果



鹿野川ダム・野村ダム流域雨量等高線図(20日17:00現在)

- ・鹿野川ダム流域において、**累計雨量165mm**、20日7時に**時間最大雨量36mm**を記録。
- ・野村ダム流域において、**累計雨量178mm**、20日6時に**時間最大雨量26mm**を記録。

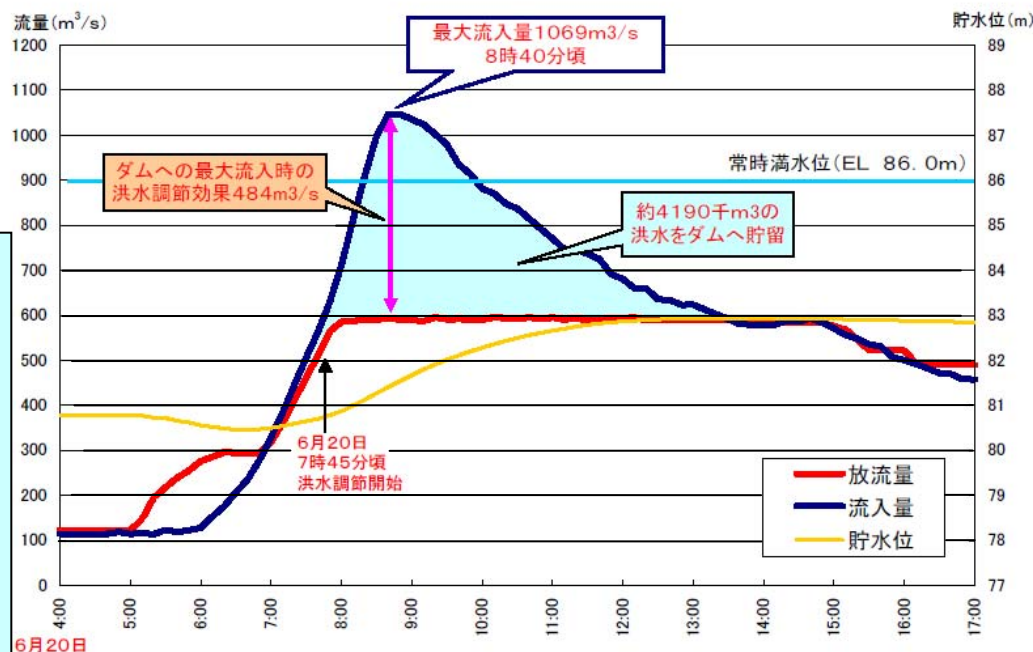
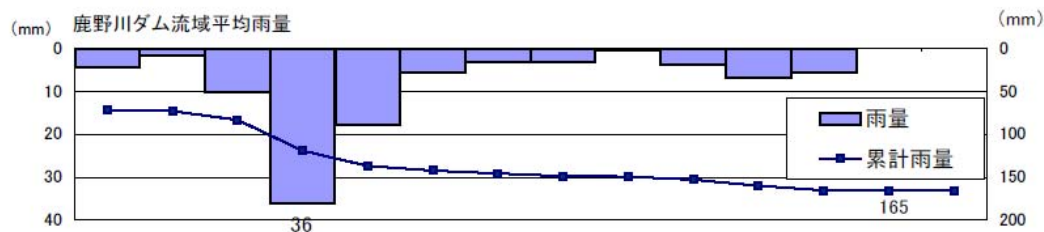
20日17時現在の6月における鹿野川ダム流域の累計雨量 **435mm**【6月平均累計雨量**257mm**(H10-H22)】

## 【近年の梅雨前線による洪水との比較 ー鹿野川ダムー】

	流域平均 累計雨量(mm)	流域平均 時間最大雨量(mm)	最大流入量(m <sup>3</sup> /s)	最大放流量(m <sup>3</sup> /s)	総調節量(千m <sup>3</sup> )
<b>H23.6.20</b>	<b>165</b>	<b>36</b>	<b>1,069</b>	<b>596</b>	<b>4,190</b>
H21.6.30	135	22	798	330	7,815
H19.7.7	134	44	761	599	867
H18.6.15	147	19	741	560	3,582
H7.7.3	283	25	1,021	776	6,215

肱川水系肱川において、鹿野川ダムで484m<sup>3</sup>/s(最大流入量1,069m<sup>3</sup>/s→放流量585m<sup>3</sup>/s)を調節しており、約4,190千m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の水位低下に寄与しました。

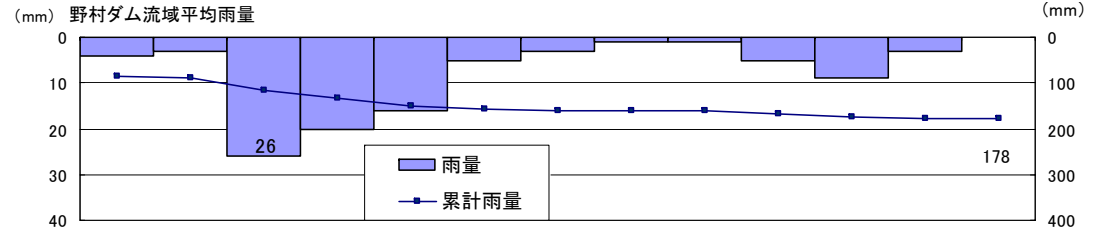
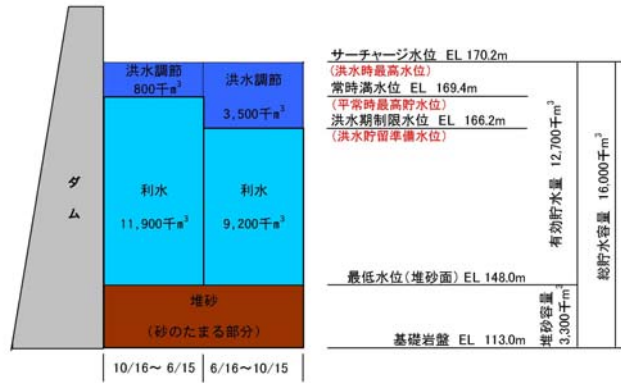
### ダム貯水池容量配分図



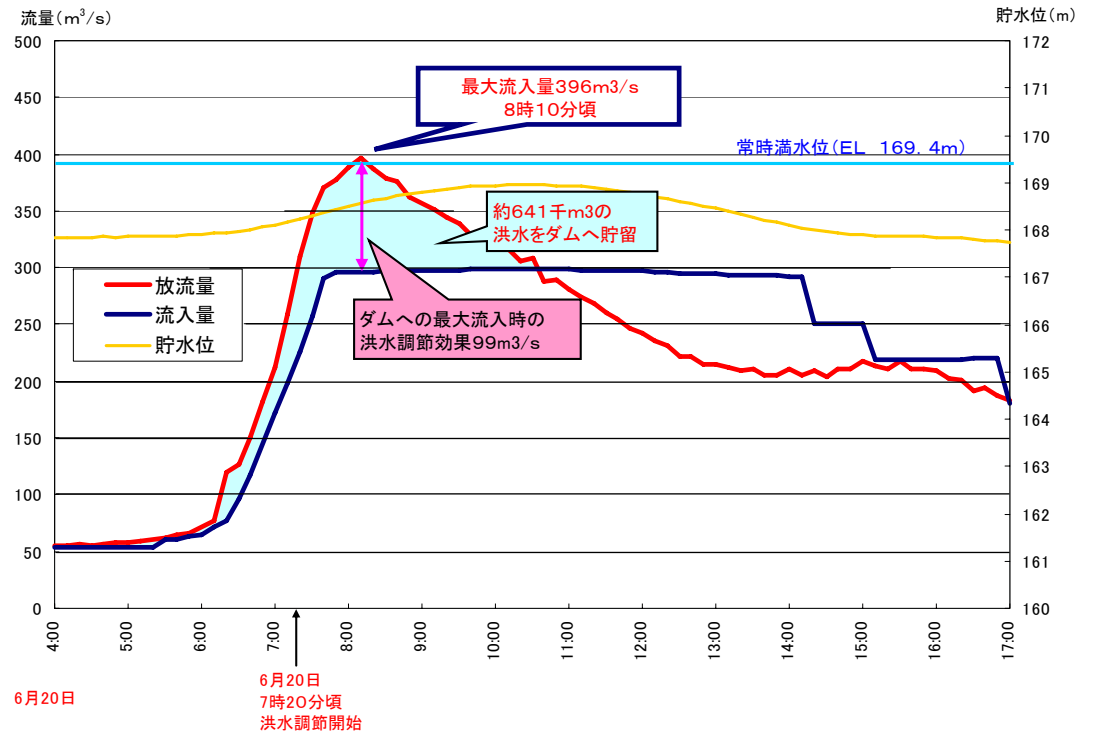
- 流入量: ダムへ流れ込む水量
- 放流量: ダムから下流へ流す水量
- 水位: 海拔から水面までの高さ
- 利水: 発電、水道水などに利用する水
- 利水容量: 利水目的で貯水できる容量  
※貯水率100%とはこの利水容量に水が100%貯まっている状態
- 洪水調節: 下流への放流量を抑える為、ダムに洪水を貯めること  
(調節量 = 流入量 - 放流量)
- 洪水調節容量: 洪水調節を目的として、洪水を貯めることができる容量
- 堆砂容量: 上流から水と一緒に流れてくる砂、礫等を貯めるための容量
- サーチャージ水位: 洪水時にダムが洪水調節をして貯めることができる(洪水時最高水位) 最高水位
- 常時満水位: 平常時にダムが流入してくる水を貯留する時の最高水位 (平常時最高水位)
- 洪水期制限水位: 洪水期(一般的に6月~10月)に必要な洪水調節容量(洪水貯留準備水位) を確保するために常時満水位よりも水位を低下させておく時の水位。

肱川水系肱川においては、野村ダムで99m<sup>3</sup>/s(最大流入量396m<sup>3</sup>/s→放流量297m<sup>3</sup>/s)を調節しており、約641千m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の水位低下に寄与しました。

■ 貯水池容量配分図



- 流入量: ダムへ流れ込む水量
- 放流量: ダムから下流へ流す水量
- 水位: 海拔から水面までの高さ
- 利水: 水道水、灌漑用水に利用する水
- 利水容量: 利水目的の貯水できる容量
- ※貯水率100%とはこの利水容量に水が100%貯まっている状態
- 洪水調節: 下流への放流量を抑える為、ダムに洪水を貯めること (調節量=流入量-放流量)
- 洪水調節容量: 洪水調節を目的とし、洪水を貯めることのできる容量
- 堆砂容量: 上流から水と一緒に流れてくる砂、礫等をためるための容量
- サーチャージ水位: 洪水時にダムが洪水調節をして貯めることのできる最高水位 (洪水時最高水位)
- 常時満水位: 平常時にダムに流入してくる水を貯留する時の最高水位 (平常時最高貯水位)
- 洪水期制限水位: 洪水期(一般的に6月~10月)に必要な洪水調節容量を確保するために常時満水位よりも水位を低下させておく時の水位 (洪水貯留準備水位)



鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節により大洲第二水位観測所(肱川橋)にて

## 最大約0.5mの水位低減効果

注) 本資料に関する数値は速報値ですので、精査の結果変更する場合があります。

大洲第二水位観測所付近 水位低減効果イメージ

